

ハウス・ウィン稲城 地域連携推進会議 議事

1. 会議名 ハウス・ウィン稲城 第1回 地域連携推進会議

2. 開催日時

令和8年1月8日（木） 11:00～12:30

3. 開催場所

ハウス・ウィン稲城

4. 出席者

医療機関 おおつき在宅クリニック 伊藤様

ハウス・ウィン稲城 管理者 深澤 知佐

株式会社ケアサポート・ウィン 村松 良記

稲城市家族会 杉野様

5. 議題

- ①グループホームの運営状況報告
- ②利用者の支援状況および課題
- ③医療・福祉・地域との連携状況
- ④事故・トラブル・クレーム発生状況
- ⑤防災・防犯体制の確認
- ⑥その他意見交換

6. 議事内容

（1）運営状況報告：村松より

現在の入居者数：

1階男性5名

2階女性5名

本日時点で満床稼働

【職員体制】

管理者 1名

サービス管理責任者：1名

非常勤世話人：7名

非常勤生活支援員：7名

職員体制その他

令和 8 年 4 月サービス管理責任者実践研修修了予定

(1) 直近の運営状況（生活支援、健康管理、日中活動状況）について報告(深澤より)

稲城は 1 月末に 1 名、他のグループホームへの体験入居を予定している。

ご本人からは「ここ(ハウス・ウィン稲城)にいたい。ここに住む」と希望あり。

他のグループホームを体験してみて、比べ、入居を決めて欲しいという稲城市からの要望のため、体験利用を実施する予定である。

ご利用者の支援に関しては、日中活動が出来ていない方がお二人いるが、1 名の方は就労移行支援を検討している。もう一名の方は就労 B を検討している

健康管理については、精神状態が不安定で大声や壁叩きがあり入退院を繰り返されている方がいらっしゃるが、前回の入院の際に訪問診療を変更し、そちらの訪問診療と連携がとれ、お薬の調整で利用者さんの精神状態安定している。

(2) 利用者支援の現状と課題

ご利用者がスマホゲームの課金をしていると認識がない状態で、課金を重ね、支払いが 30 万円になってしまふことがあった。法律事務所から催促状届き、利用者さんから保護者の方に相談し発覚した。

現在は月々 1 万円の分割払いで支払いをしている。

法律事務所からの手紙や普段と違う書類が届いた場合、職員と一緒に中を確認するなど、早期発見に努める。

(3) 医療機関との連携状況（村松より）

2025 年よりおつき在宅クリニック様と医療連携体制を整えさせていただいた。

おつき在宅クリニック様は精神科・内科の訪問診療をされており、オンライン診療も対応して下さるため特に当ホームで通院が苦手な精神障害の方に対しての医療サービスがしやすくなった。

あわせて調剤薬局との連携も図り、いつでもお薬を届けてくださるため、ホーム運営をしている我々としてもとても頼りになっている。

(4) 事故・トラブル・クレーム状況

事故報告書件数 3 件（缶詰で怪我、服薬忘れ、服薬日付間違い）

ヒヤリハット件数 0 件

クレーム 2 件（世話人の言葉づかい）

（５）地域との関係・周知活動

稲城市内の防災訓練に参加

稲城市家族会開催の会合に参加

（６）防災・防犯体制の確認

BCP 計画に基づき社内訓練・研修を実施。その内容を各拠点で周知しております。

管理者を中心に避難・誘導訓練を稲城市内に実施。

（７）ご参加者かたのご意見・ご要望

医療機関より：

グループホームの質と、グループホームの不足が課題と感じた。

ハウス・ウィン稲城はクリアな運営をしていると感じた。

訪問診療では通院が出来ない人、付き添いが出来ない人といった方を主に診ている。グループホームや個人のお宅への診療も可能。支援が行き届いていない方へもお伝えしていけたらと思う。

家族会より：

グループホームの質は課題だと感じた。グループホームの職員募集をみても「誰でもできる簡単なお仕事」と書かれており、安易な気持ちで勤める方がいるのかもしれないと感じていた。

それに比べて、ケアサポート・ウィンのグループホームは入居者のことを考えて運営しているところがいいと思う。昔と比べて、自立のためにグループホームへの入居を検討する親も増えているので、グループホームが増えるといい。

７．まとめ（村松より）

今後について、滞在型アパートタイプのグループホームは、現在の反響から見ても引き続き高いニーズがあると捉えています。今後も各行政機関と連携・相談を行いながら、計画的な新規拠点開設に向けて検討を進めていく方針です。

また、近年は障害者グループホームにおける支援の質の低下が課題として指摘されており、当事業所では本年よりeラーニングによる研修体制を整備しています。今後はこれに加え、特に虐待防止に関する研修を重点的に強化していく考えです。

さらに、自然災害の発生が増加している状況を踏まえ、多摩川に隣接する拠点が多い特性から、BCP計画に基づいた避難訓練等の防災対策も一層強化していきます。

当社は 2023 年に精神特化型訪問看護ステーション「ハートフル・ウィン」を開設しました。長期入院患者の地域移行を支える受け皿として、生活面・心身面の双方を支援できるアパートタイプ滞在型グループホームの必要性を感じたことが背景です。今後は、より精神に特化したグループホームの運営も視野に入れ、地域における質の高い社会資源の提供に努めてまいります。

次回会議は令和 9 年 1 月頃に開催予定

8. 閉会

12 時 45 分、閉会

署名欄

事業所名	氏名
おおつき在宅クリニック	伊藤 賢司
家族会	杉野 知子
株式会社ケアサポート・ウィン	村松 良記
株式会社ケアサポート・ウィン	深澤 知佐